【Liaison】[リエゾン]

The leaf of a lotus growing in colonies from place to place in the sky of Tokyo.
東京の空に転々と群生する蓮の葉

They join
それは 100m 上空と地上を
the sky and ground,
巨大なエネルギーが集まる駅を
and statiosn where huge energy gathers.
のびやかに繋いでいく.

I scatter the community of Chuo-Line and do it compactly.
それは中央線のコミュニティを分散させコンパクトにする.

100 cubic meters scatter energy and do it compactly.
100 立米がエネルギーを分散させてコンパクトにし
And the ground overflows for an activity under the shade of a tree.
地上は木陰の下でアクティビティに溢れる.

[Liaison(Freanch)]
a フランス語の発音規則のひとつ. (1)語末に綴り字だけで通常は発音されない子音をもつ単語に、語頭に母音をもつ単語が強い結びつきで連続するとき、その語末子音と次の語頭母音が結合し一音節として発音される現象. (2)フランス語に顕著で、たとえば、複数定冠詞 les [le] に「子供たち」の意の enfants [ɑ̃fɑ̃] が続くと [lezɑ̃fɑ̃] と発音されるなどの類. 連音
b ソースやスープにとろみをつけるためのもの. 小麦粉・ブール マニエ・生クリームなど.
c 精神医学において、身体疾患を抱えた患者の精神的問題の解決に精神科医が介入・協力すること.
d ラリーにおいて、競技区間(コース、スペシャル・ステージ)では無く、競技区間を結ぶ区間のこと. リエゾン区間.

Yoyogi~Sendagi

まちとまちの間に架かる大きな屋根の下で人々の日常は展開される。時にその屋根は足下から緑を吸い上げ近接する屋上などに豊かな環境を拡げていく。

Shinanomachi~Yotuya

このポールの廻りには大きな木陰ができる。100m 上空の屋根や植物の存在を手もとで感じながら 1 つの木陰を人々は共有する。

Jyouren-Temple

中央線沿いのある寺の蓮の池。

Iidabashi~Suidoubashi

駅と駅のあいだに広がる大きな屋根の下にはそれぞれの駅からエネルギーが分散し大きなリビングのような活動の場が新たに広がりを見せる。リエゾン。

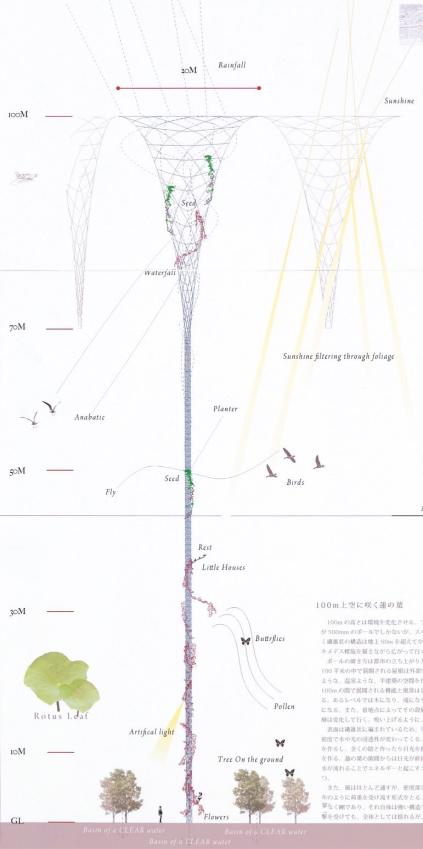
Otyanomizu

100m 上空までで植物が育ち花が咲き、鳥が集まったりと一様ではない環境循環が日常の景色に付加される。

Otyanomizu~Kanda

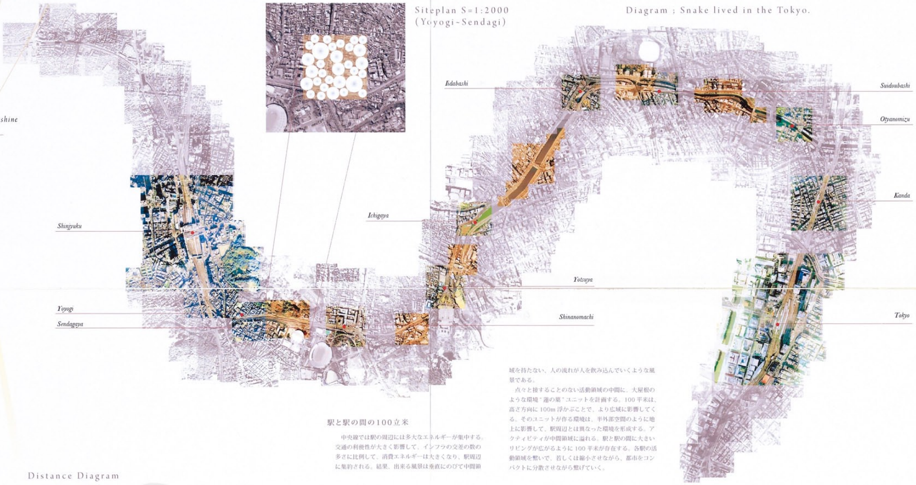
通常の風景に 100m という高さが意識され領域がうまれることで道を含め周辺と一体となった生活環境が創られる。

Structure & System S=1:350


20M
Rainfall
Sunshine
100M
Seed
Waterfall
70M
Sunshine filtering through foliage
Anabatic
Planter
Birds
50M
Seed
Fly
Rest
Little Houses
30M
Buttrflies
Rotus Leaf
Pollen
Artifical light
10M
Tree On the ground
Flowers
GL
Basin of a CLEAR water
Basin of a CLEAR water
Basin of a CLEAR water

Siteplan S=1:2000 (Yoyogi~Sendagi)

Diagram ; Snake lived in the Tokyo.


Iidabashi
Suidoubashi
Otyanomizu
Kanda
Shinjyuku
Ichigaya
Yotsuya
Yoyogi
Sendagaya
Shinanomachi
Tokyo

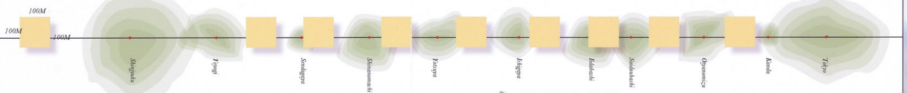
駅と駅の間の100立米

中央線では駅の周辺には多大なエネルギーが集中する。交通の利便性が大きく影響して、インフラの交差の数の多さに比例して、消費エネルギーは大きくなり、駅周辺に集約される。結果、出来る風景は垂直にのびて中間領域を持たない、人の流れが人を飲み込んでいくような風景である。

点々と接することのない活動領域の中間に、大屋根のような環境 " 蓮の葉 " ユニットを計画する。100 平米は、高さ方向に 100m 浮かぶことで、より広域に影響してくる。そのユニットが作る環境は、半外部空間のように地上に影響して、駅周辺とは異なった環境を形成する。アクティビティが中間領域に溢れる。駅と駅の間に大きいリビングが広がるように 100 平米が存在する。各駅の活動領域を繋いで、若しくは縮小させながら、都市をコンパクトに分散させながら繋げていく。

Distance Diagram

中央線を直線に並べたときのアクティビティ強度と 100 立米の関係は、互いにオーバーラップして行く.


100M
100M
100M
Shinjyuku
Yoyogi
Sendagaya
Shinanomachi
Yotsuya
Ichigaya
Iidabashi
Suidoubashi
Otyanomizu
Kanda
Tokyo

100m上空に咲く蓮の葉

100m の高さは環境を変化させる。フットプリントは径が 500mm のポールでしかないが、スパイラルで上って行く繊維状の構造は地上 60m を超えてから、平面上でアルキメデス螺旋を描きながら広がって行く。

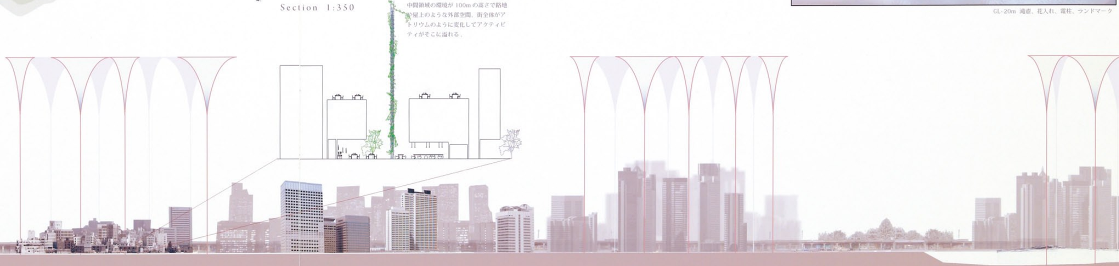
ポールの置き方は都市の立ち上がり方で決定されて、100 平米の中で展開される屋根は外部空間でアトリウムのような、温室ような、半建築の空間を作り出す。
100m の間で展開される機能と風景はレベルによって異なる。あるレベルでは木になり、滝になり、屋根になり、雲になる。また、着地点によってその設備的な意味合いや表層は変化して行く。吸い上げるように。

表面は繊維状に編まれているため、多孔的であり、その密度で水や光の浸透性が変わってくる。密度に寄っては滝を作るし、全くの陰と作ったり日光を拡散させて木漏れ日を作る。蓮の葉の隙間からは日光が直接差し込む。また、水が流れることでエネルギーと起こすエコ的な側面も持つ。

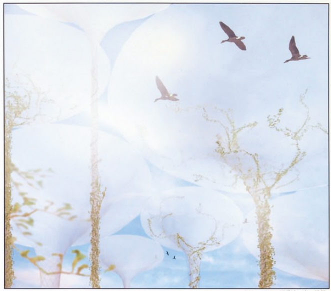
また、風はほとんど通すが、密度部分的には柔らかく、布のように荷重を受け流す形式をとる。また、全体では限撃なく剛であり、それ自体は強い構造である。つまり、衝撃を受けても、全体としては揺れるが、崩壊はしない。

Section 1:350

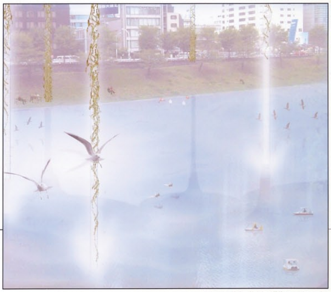
中間領域の環境が 100m の高さで路地や屋上のような外部空間、街全体がアトリウムのように変化してアクティビティがそこに溢れる.



Section S=1:100


70m-100m 雨受け、庇、屋根

50m-30m 滝、巣、プランター


GL-20m 滝壺、花入れ、電柱、ランドマーク